

大学番号 026

注3

設置年度 令和 2年度
計画の区分： 学部の設置
注1

届出

国際医療福祉大学 福岡薬学部

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人国際医療福祉大学
令和3年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	事務部 学務課 教務係
職名・氏名	カカリチヨウハラヤマ ヤスエ 係長 村山 康恵
電話番号	0944-89-2031
（夜間）	0944-89-2031
e-mail	okawa-kyomu@iuhw.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

福岡薬学部

＜薬学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	18
6. 附帯事項等に対する履行状況等	31
7. その他全般的事項	32

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 国際医療福祉大学

(2) 大学名

国際医療福祉大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒831-8501

福岡県大川市榎津137-1（栃木県大田原市北金丸2600-1）

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(タカギ クニノリ) 高木 邦格 (平成7年4月)		
学長	(オオトモ クニ) 大友 邦 (平成28年4月)		
学部長	(タケダ ヒロシ) 武田 弘志 (令和2年4月)		
学科長等	(タケダ ヒロシ) 武田 弘志 (令和2年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。

(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)

令和3年度に報告する内容 → (3)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
福岡薬学部 薬学科 学士(薬学)	薬学関係	年 6	人 120	年次 人	人 720		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	120人 () []	-	120人 () []	-	人 () []	1.06	-						
志願者数	1,267 (-) [-]	0 (-) [-]	1070 (-) [-]	0 (-) [-]									
受験者数	1,242 (-) [-]	0 (-) [-]	1054 (-) [-]	0 (-) [-]									
合格者数	391 (-) [-]	0 (-) [-]	339 (-) [-]	0 (-) [-]									
B 入学者数	131 (-) [-]	0 (-) [-]	123 (-) [-]	0 (-) [-]									
入学定員超過率 B/A	1.09		1.03										

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1年次	131 [-] (-)	- [-] (-)	134 [-] (11)	- [-] (-)	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()		
2年次	/		115 [-] (-)	- [-] (-)	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()		
3年次			/		[] [] ()							
4年次					/		[] [] ()					
計			131 [-] (-)	249 [-] (11)			[] [] ()					

・令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	131 人	5 人	令和2年度	5 人	0 人	就学意欲の低下(1人)、他の教育機関への転学(4名)
令和3年度	249 人	0 人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
令和6年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	人	人	
合計		5 人		人	人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{5}{131} = \boxed{3.81} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{249} = \boxed{0} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<福岡薬学部 薬学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
人間系	文学論	0		2							兼1
	演劇論	0		1							兼1
	心理学	0	2								兼1
	哲学	0		2							兼1
	コミュニケーション概論	0	2								兼1
	雑談と傾聴～話す力と聴く力～	0		2							兼1
	人間学	0		2							兼1
	倫理学	0		2							兼1
	宗教学	0		2							兼1
	日本近現代史	0		2							兼1
	文化人類学	0		2							兼1
	教育学	0		2							兼1
死生学-死を通して生を考える-	0		2							兼1	
社会系	法学	0	2								兼1
	日本国憲法	0		2							兼1
	社会学	0		2							兼1
	国際関係論	0		2							兼1
	国際医療福祉論	0		2							兼1
	組織運営管理論	0		2							兼1
	海外保健福祉事情Ⅰ(講義)	0	1								兼1
	海外保健福祉事情Ⅱ(実習)	0	1								兼1
	社会保障制度論	0		2							兼1
	ボランティア論	0		2							兼1
経済の仕組み	0		2							兼1	
自然・情報系	統計学	0	2								兼1
	数学	1後	2								兼1
	物理学	0		2							兼1
	化学	0	2			1					兼1
	生物学	0	2				1				兼1
	情報処理	0	1								兼1
	生命倫理	0	2								兼1
	医学/医療史	0		2							兼1
総合系	大学入門講座Ⅰ(基礎)	0	1								兼1
	大学入門講座Ⅱ(展開)	0		1							兼1
	郷土論～大川学～	0		1							兼1
	医療福祉教養講義	0		1							兼1
	メディカルマナー入門	0		2							兼1
外国語系	英語講読1 (Primary)	0	1				1				兼1
	英語講読2 (Basic)	0	1				1				兼1
	英語CALL1 (Primary)	0	1				1				兼1
	英語CALL2 (Basic)	0	1				1				兼1
	英会話	0		1							兼1
	実用英会話	0		1							兼1
	医学英語Ⅰ(入門)	0		1							兼1
	医学英語Ⅱ(応用)	0		1							兼1
	資格英語1 (Primary)	0		1							兼1
	資格英語2 (Basic)	0		1							兼1
	中国語	0		2							兼1
	実用中国語会話	0		1							兼1
	韓国語	0		2							兼1
	実用韓国語会話	0		1							兼1
外国語系 日本語科目	作文・読解Ⅰ(入門)	0		1							兼1
	作文・読解Ⅱ(応用)	0		1							兼1
	作文・読解Ⅲ(完成)	0		1							兼1
	文法・語彙Ⅰ(入門)	0		1							兼1

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
人間系	文学論	1前		2								兼1
	演劇論	1後		1								兼1
	心理学	1前	2									兼1
	哲学	1前		2								兼1
	コミュニケーション概論	1前	2									兼1
	雑談と傾聴～話す力と聴く力～	2前		2								兼1
	人間学	1前		2								兼1
	倫理学	1後		2						1		兼1
	宗教学	1後		2								兼1
	日本近現代史	1後		2								兼1
	文化人類学	1前		2								兼1
	教育学	1後		2								兼1
死生学-死を通して生を考える-	1前		2								兼1	
社会系	法学	1前	2							1		兼1
	日本国憲法	1前		2						1		兼1
	社会学	1後		2								兼1
	国際関係論	1前		2								兼1
	国際医療福祉論	1後		2								兼1
	組織運営管理論	1前		2								兼1
	海外保健福祉事情Ⅰ(講義)	2前	1									兼1
	海外保健福祉事情Ⅱ(実習)	2通	1									兼1
	社会保障制度論	1前		2								兼1
	ボランティア論	1後		2								兼1
経済の仕組み	1後		2								兼1	
自然・情報系	統計学	1後	2									兼1
	数学	1前	2									兼1
	物理学	1前		2								兼1
	化学	1前	2									兼1
	生物学	1前	2							1		兼1
	情報処理	1前	1							1		兼1
	生命倫理	1後	2							1		兼1
	医学/医療史	1前		2								兼1
総合系	大学入門講座Ⅰ(基礎)	1前	1									兼1
	大学入門講座Ⅱ(展開)	1前		1								兼1
	郷土論～大川学～	1前		1								兼1
	医療福祉教養講義	1後		1								兼1
	メディカルマナー入門	1前		2								兼1
外国語系	英語講読1 (Primary)	1後	1							1		兼1
	英語講読2 (Basic)	2前	1							1		兼1
	英語CALL1 (Primary)	1前	1							1		兼1
	英語CALL2 (Basic)	2後	1							1		兼1
	英会話	1後		1								兼1
	実用英会話(未開講)	2前		1								兼1
	医学英語Ⅰ(入門)	1前		1						1		兼1
	医学英語Ⅱ(応用)	1後		1						1		兼1
	資格英語1 (Primary)	1前		1								兼1
	資格英語2 (Basic)	1後		1								兼1
	中国語	1通		2								兼1
	実用中国語会話(未開講)	2前		1								兼1
	韓国語	1通		2								兼1
	実用韓国語会話	2前		1								兼1
外国語系 日本語科目	作文・読解Ⅰ(入門)	1前		1								兼1
	作文・読解Ⅱ(応用)	1前		1								兼1
	作文・読解Ⅲ(完成)	1後		1								兼1
	文法・語彙Ⅰ(入門)	1前		1								兼1

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合教育科目	外国語系 留学生用日本語科目	文法・語彙Ⅱ(応用)	1前	1							兼1	
		文法・語彙Ⅲ(完成)	1前	1							兼1	
		発表・討論Ⅰ(応用)	1前	1							兼1	
		発表・討論Ⅱ(完成)	1後	1							兼1	
		医療福祉専門漢字	1前	1							兼1	
		医療福祉専門語彙	1後	1							兼1	
		日本語基礎Ⅰ(初級)	1後		1						兼1	
		日本語基礎Ⅱ(初級)	1後		1						兼1	
		保健体育系	健康科学理論	1後		1						兼1
			健康科学実践	1後		1						兼1
小計(65科目)		-	24	70	2	1	1			兼32		
専門基礎科目	学部共通	公衆衛生学	3後	2		1		2			兼1	
		救急医学(救命救急を含む)	2前		1		1				兼1	
		リハビリテーション概論	1前		2						兼1	
		微生物と病気	1後		2						兼1	
		関連職種連携論	2後	2			1				兼1	
		ケアマネジメント論	2前		1						兼1	
		保健医療福祉制度論	1前		2						兼1	
		臨床心理学概論	1後	2							兼1	
		関連職種連携ワーク	3前	1				1			兼1	
		関連職種連携実習	5前		1			1			兼1	
		リスクマネジメント論	3前		2						兼1	
		薬学科	薬学演習Ⅰ(物理系等)	2後	1				1			
			薬学演習Ⅱ(化学系等)	3前	1					1		
			薬学演習Ⅲ(生物系等)	3後	1					1		
			薬学計算	2前	1			1				
			病原微生物学	3前	2			1				
			コミュニケーション実習	2前	1			2	2	1		
			基礎薬学実習Ⅰ(物理)	1後	1			2	1	1	1	
			基礎薬学実習Ⅱ(生物)	1後	1			2	3			
小計(19科目)	-		16	11	0	8	4	3	3	0	兼9	
専門教育科目	薬学系	薬学概論	1後	2		1					兼1	
		有機化学Ⅰ(脂肪族化合物1)	1後	2			1				兼1	
		有機化学Ⅱ(脂肪族化合物2)	2前	2			1				兼1	
		有機化学Ⅲ(芳香族化合物)	2後	2		1					兼1	
		生薬学	2前	2							兼1	
		天然物化学	2後	1							兼1	
		医薬品構造化学	3後	1			1				兼1	
		分析化学Ⅰ(溶液中の化学平衡と滴定法)	1後	2			1				兼1	
		分析化学Ⅱ(機器分析、分離分析および臨床分析)	2前	2			1				兼1	
		医薬品構造解析	2後	2			1	1	1		兼1	
		薬品物理化学Ⅰ(物性とエネルギー)	1後	2			1				兼1	
		薬品物理化学Ⅱ(平衡と変化)	2前	2			1				兼1	
		放射化学	2前	1				1			兼1	
		生化学Ⅰ(生体分子)	1後	2			1				兼1	
		生化学Ⅱ(生体エネルギー・代謝)	2前	2			1				兼1	
		分子生物学Ⅰ(遺伝情報・細胞内情報伝達)	2前	2			1				兼1	
		分子生物学Ⅱ(細胞間コミュニケーション・遺伝)	2後	2			1				兼1	
		解剖生理学Ⅰ(外皮系、骨格系・筋肉系、循環器系)	1後	2			1				兼1	
		解剖生理学Ⅱ(神経系、内分泌系)	2前	2			4				兼1	
		解剖生理学Ⅲ(消化器系、呼吸器系、泌尿器系)	2後	2			4				兼1	
		がん薬物療法学	3前	2				1			兼1	
		ゲノム医療	3後	1				1			兼1	
		化学療法学	3後	2			1	1			兼1	
		免疫学	2後	2			1				兼1	
		疾病と病態生理学Ⅰ(内分泌系、神経精神系疾患等)	2後	2				1			兼1	
		疾病と病態生理学Ⅱ(循環器系疾患、消化器系疾患等)	3前	2			2	1			兼1	
		疾病と病態生理学Ⅲ(呼吸器系疾患、代謝性疾患等)	3後	2			1	1			兼1	
		薬理学Ⅰ(総論、末梢神経薬理等)	3前	2			1				兼1	
		薬理学Ⅱ(中枢神経薬理、免疫・炎症薬理等)	3後	2				1			兼1	
		薬理学Ⅲ(循環器薬理、消化器薬理等)	4前	2				1			兼1	
		薬理学Ⅳ(呼吸器薬理、内分泌薬理等)	4前	2			1				兼1	
		医薬品安全性学	4後	2			2				兼1	

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合教育科目	外国語系 留学生用日本語科目	文法・語彙Ⅱ(応用)	1前	1							兼1	
		文法・語彙Ⅲ(完成)	1前	1							兼1	
		発表・討論Ⅰ(応用)	1前	1							兼1	
		発表・討論Ⅱ(完成)	1後	1							兼1	
		医療福祉専門漢字	1前	1							兼1	
		医療福祉専門語彙	1後	1							兼1	
		日本語基礎Ⅰ(初級)	1後		1						兼1	
		日本語基礎Ⅱ(初級)	1後		1						兼1	
		保健体育系	健康科学理論	1後		1						兼1
			健康科学実践	1後		1						兼1
小計(65科目)		-	24	70	2		3	1	1	兼33		
専門基礎科目	学部共通	公衆衛生学	3後	2		1		2			兼1	
		救急医学(救命救急を含む)	2前		1		1				兼1	
		リハビリテーション概論	1前		2						兼1	
		微生物と病気	1後		2			3	2	1	兼1	
		関連職種連携論	2後	2			1				兼1	
		ケアマネジメント論	2前		1						兼1	
		保健医療福祉制度論	1前		2						兼1	
		臨床心理学概論	1後	2							兼1	
		関連職種連携ワーク	3前	1					1		兼1	
		関連職種連携実習	5前		1				1		兼1	
		リスクマネジメント論	3前		2						兼1	
		薬学科	薬学演習Ⅰ(物理系等)	2後	1				1	4	1	2
			薬学演習Ⅱ(化学系等)	3前	1							2
			薬学演習Ⅲ(生物系等)	3後	1							1
			薬学計算	2前	1					3	1	1
			病原微生物学	3前	2				1			
			コミュニケーション実習	2前	1			2		3	1	
			基礎薬学実習Ⅰ(物理)	1後	1			2	1	1	1	
			基礎薬学実習Ⅱ(生物)	1後	1			2	3	1		
小計(19科目)	-		16	11	0	7	5	6	4	0	兼8	
専門教育科目	薬学系	薬学概論	1前	2				5	3	2	兼1	
		有機化学Ⅰ(脂肪族化合物1)	1後	2				1			兼1	
		有機化学Ⅱ(脂肪族化合物2)	2前	2				1			兼1	
		有機化学Ⅲ(芳香族化合物)	2後	2				1			兼1	
		生薬学	2前	2							兼1	
		天然物化学	2後	1							兼1	
		医薬品構造化学	3後	1				1			兼1	
		分析化学Ⅰ(溶液中の化学平衡と滴定法)	1後	2							兼1	
		分析化学Ⅱ(機器分析、分離分析および臨床分析)	2前	2							兼1	
		医薬品構造解析	2後	2				1	1	1	兼1	
		薬品物理化学Ⅰ(物性とエネルギー)	1後	2				1			兼1	
		薬品物理化学Ⅱ(平衡と変化)	2前	2				1			兼1	
		放射化学	2前	1					1		兼1	
		生化学Ⅰ(生体分子)	1後	2				1			兼1	
		生化学Ⅱ(生体エネルギー・代謝)	2前	2				1			兼1	
		分子生物学Ⅰ(遺伝情報・細胞内情報伝達)	2前	2				1			兼1	
		分子生物学Ⅱ(細胞間コミュニケーション・遺伝)	2後	2				1	1		兼1	
		解剖生理学Ⅰ(外皮系、骨格系・筋肉系、循環器系)	1後	2				1			兼1	
		解剖生理学Ⅱ(神経系、内分泌系)	2前	2				3		1	兼1	
		解剖生理学Ⅲ(消化器系、呼吸器系、泌尿器系)	2後	2				1			兼1	
		がん薬物療法学	3前	2					1		兼1	
		ゲノム医療	3後	1					1		兼1	
		化学療法学	3後	2				1	1		兼1	
		免疫学	2後	2				2			兼1	
		疾病と病態生理学Ⅰ(内分泌系、神経精神系疾患等)	2後	2				3		1	兼1	
		疾病と病態生理学Ⅱ(循環器系疾患、消化器系疾患等)	3前	2				2	1		兼1	
		疾病と病態生理学Ⅲ(呼吸器系疾患、代謝性疾患等)	3後	2				1	1	1	兼1	
		薬理学Ⅰ(総論、末梢神経薬理等)	3前	2				1	1		兼1	
		薬理学Ⅱ(中枢神経薬理、免疫・炎症薬理等)	3後	2					1		兼1	
		薬理学Ⅲ(循環器薬理、消化器薬理等)	4前	2					1		兼1	
		薬理学Ⅳ(呼吸器薬理、内分泌薬理等)	4前	2				1	1		兼1	
		医薬品安全性学	4後	2				2			兼1	

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
人間系	文学論	1前		2								兼1
	演劇論	1後		1								兼1
	心理学	1前	2									兼1
	哲学	1前		2								兼1
	コミュニケーション概論	1前	2									兼1
	雑談と傾聴～話す力と聴く力～	2前		2								兼1
	人間学	1前		2								兼1
	倫理学	1後		2				1				兼1
	宗教学	1後		2								兼1
	日本近現代史	1後		2								兼1
	文化人類学	1前		2								兼1
	教育学	1後		2								兼1
	死生学-死を通して生を考える-	1前		2								兼1
社会系	法学	1前	2									兼1
	日本国憲法	1前		2								兼1
	社会学	1後		2								兼1
	国際関係論	1前		2								兼1
	国際医療福祉論	1後		2								兼1
	組織運営管理論	1前		2								兼1
	海外保健福祉事情Ⅰ(講義)	2前	1									兼1
	海外保健福祉事情Ⅱ(実習)	2通	1									兼1
	社会保障制度論	1前		2								兼1
	ボランティア論	1後		2								兼1
	経済の仕組み	1後		2								兼1
自然・情報系	統計学	1後	2									兼1
	数学	1前	2									兼1
	物理学	1前		2								兼1
	化学	1前	2			1		1				兼1
	生物学	1前	2				1					兼1
	情報処理	1前	1				1					兼1
	生命倫理	1後	2					1				兼1
	医学/医療史	1前		2								兼1
	総合系	大学入門講座Ⅰ(基礎)	1前	1								
大学入門講座Ⅱ(展開)		1前		1								兼1
郷土論～大川学～		1前		1								兼1
医療福祉教養講義		1後		1								兼1
メディカルマナー入門		1前		2								兼1
外国語系	英語講読1(Primary)	1後	1				1					兼1
	英語講読2(Basic)	2前	1				1					兼1
	英語CALL1(Primary)	1前	1				1					兼1
	英語CALL2(Basic)	2後	1				1					兼1
	英会話	1後		1			1					兼1
	実用英会話	2前		1								兼1
	医学英語Ⅰ(入門)	1前		1			1					兼1
	医学英語Ⅱ(応用)	1後		1			1					兼1
	資格英語1(Primary)	1前		1								兼1
	資格英語2(Basic)	1後		1								兼1
	中国語	1通		2								兼1
	実用中国語会話	2前		1								兼1
	韓国語	1通		2								兼1
	実用韓国語会話	2前		1								兼1
外国語系 日本語科目	作文・読解Ⅰ(入門)	1前		1								兼1
	作文・読解Ⅱ(応用)	1前		1								兼1
	作文・読解Ⅲ(完成)	1後		1								兼1
	文法・語彙Ⅰ(入門)	1前		1								兼1

【令和2年度】

	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合教育科目	外国語系 留学生用日本語科目	文法・語彙Ⅱ（応用）	1前	1								兼1
		文法・語彙Ⅲ（完成）	1前	1								兼1
		発表・討論Ⅰ（応用）	1前	1								兼1
		発表・討論Ⅱ（完成）	1後	1								兼1
		医療福祉専門漢字	1前	1								兼1
		医療福祉専門語彙	1後	1								兼1
		日本語基礎Ⅰ（初級）	1後			1						兼1
		日本語基礎Ⅱ（初級）	1後			1						兼1
保健系	健康科学理論	1後		1							兼1	
		健康科学実践	1後		1						兼1	
	小計(65科目)	-	24	70	2	0	3	1	1		兼36	
専門基礎科目	学部共通	公衆衛生学	3後	2			1		2			
		救急医学(救命救急を含む)	2前		1		1					
		リハビリテーション概論	1前		2							兼1
		微生物と病気	1後		2		3	2	1			兼1
		関連職種連携論	2後	2			1					兼1
		ケアマネジメント論	2前		1							兼1
		保健医療福祉制度論	1前		2							兼1
		臨床心理学概論	1後	2								兼1
		関連職種連携ワーク	3前	1					1			兼1
		関連職種連携実習	5前		1				1			兼1
リスクマネジメント論	3前		2							兼1		
薬学科	薬学	薬学演習Ⅰ(物理系等)	2後	1				1				
		薬学演習Ⅱ(化学系等)	3前	1						1		
		薬学演習Ⅲ(生物系等)	3後	1						1		
		薬学計算	2前	1			1					
		病原微生物学	3前	2				1				
		コミュニケーション実習	2前	1			2		2	1		
		基礎薬学実習Ⅰ(物理)	1後	1			2	1	1	1		
		基礎薬学実習Ⅱ(生物)	1後	1			1	3				
	小計(19科目)	-	16	11	0	7	5	5	4	0	兼8	
専門教育科目	専門科目	薬学概論	1前	2			5	3	2			
		有機化学Ⅰ(脂族化合物1)	1後	2				1				
		有機化学Ⅱ(脂族化合物2)	2前	2				1				
		有機化学Ⅲ(芳香族化合物)	2後	2			1					
		生薬学	2前	2								兼1
		天然物化学	2後	1								兼1
		医薬品構造化学	3後	1				1				
		分析化学Ⅰ(溶液中の化学平衡と滴定法)	1後	2				4				兼1
		分析化学Ⅱ(機器分析、分離分析および臨床分析)	2前	2				1				
		医薬品構造解析	2後	2				1		1	2	
		薬品物理化学Ⅰ(物性とエネルギー)	1後	2					1			
		薬品物理化学Ⅱ(平衡と変化)	2前	2					1			
		放射化学	2前	1						1		
		生化学Ⅰ(生体分子)	1後	2					1			
		生化学Ⅱ(生体エネルギー・代謝)	2前	2				1				
		分子生物学Ⅰ(遺伝情報・細胞内情報伝達)	2前	2					1	1		
		分子生物学Ⅱ(細胞間コミュニケーション・遺伝)	2後	2					1	1		
		解剖生理学Ⅰ(外皮系、骨格系・筋肉系、循環器系)	1後	2				1				
		解剖生理学Ⅱ(神経系、内分泌系)	2前	2				4				兼1
		解剖生理学Ⅲ(消化器系、呼吸器系、泌尿器系)	2後	2				5				
		がん薬物療法	3前	2					1			
		ゲノム医療	3後	1					1			
		化学療法	3後	2				1	1			
		免疫学	2後	2				1				
		疾病と病態生理学Ⅰ(内分泌系、神経精神系疾患等)	2後	2					1			
		疾病と病態生理学Ⅱ(循環器系疾患、消化器系疾患等)	3前	2				2	1			
		疾病と病態生理学Ⅲ(呼吸器系疾患、代謝性疾患等)	3後	2				1	1	1		
		薬理学Ⅰ(総論、末梢神経薬理等)	3前	2				1				
		薬理学Ⅱ(中枢神経薬理、免疫・炎症薬理等)	3後	2					1			
		薬理学Ⅲ(循環器薬理、消化器薬理等)	4前	2					1			
薬理学Ⅳ(呼吸器薬理、内分泌薬理等)	4前	2				1						
医薬品安全性学	4後	2				2						

【令和2年度】

専門教育科目	専門科目	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
		臨床検査医学	3前	2			1						
		薬物治療学Ⅰ（神経精神疾患、内分泌系疾患等）	4後	2			3						
		薬物治療学Ⅱ（循環器系疾患、呼吸器系疾患等）	4後	2			1			1			
		薬物治療学Ⅲ（症例・病態解析）	6前	2			5	1	1	1			
		物理薬剤学	2後	2				1					
		製剤設計とDDS	4前	2			1						
		臨床薬学Ⅰ（調剤の基礎）	3後	2					1				
		臨床薬学Ⅱ（調剤の実践）	4前	2			1				3		
		臨床薬学Ⅲ（薬物療法の実践）	4後	2					1		3		
		臨床薬学Ⅳ（チーム医療・地域医療の実践その前に）	4通	1			1		2		3		
		薬物動態学	3後	2			1						
		臨床薬物動態学	4前	2			1						
		医薬品情報学Ⅰ（医薬品情報の収集と活用）	3前	2					1				
		医薬品情報学Ⅱ（EBMと臨床研究）	6前	1			1		2				
		衛生化学Ⅰ（食品・栄養）	2後	2			1						
		衛生化学Ⅱ（毒性・代謝）	3前	2			1						
		環境衛生学	3前	2			1						
		医療関係法規	4前	2			1		2				
		日本薬局方	3後	1									兼1
		漢方医学Ⅰ（漢方の基礎）	3後	2									兼1
		漢方医学Ⅱ（漢方の応用）	4前	1									兼1
		OTC医薬品概論	3後	2							3		
		化学系薬学実習Ⅰ（有機合成）	2前	1			1	1		2			
		化学系薬学実習Ⅱ（天然資源）	2後	1			1	1		2			
		物理系薬学実習	2後	1			2	1	1	1			
		生物系薬学実習	4前	1			3	1		1			
		分子生物学実習	3前	1			2	3	1				
		臨床検査医学実習	3後	1			5	1		1			
		衛生系薬学実習	3前	1			2		2	1			
		早期体験実習	1後	1			3		4	1			
		医療系薬学実習Ⅰ（調剤の基礎と情報収集）	3後	1			1		1	3			
		医療系薬学実習Ⅱ（調剤の実践と服薬指導）	4前	1			1		1	3			
		病院・薬局事前実習Ⅰ（実務実習に必要な基本的知識）	4前	2			1						
		病院・薬局事前実習Ⅱ（実務実習に必要な基本的技能）	4後	2			1						
		病院・薬局実務実習Ⅰ（主に病院での実習）	5通	10			1		1	3			
		病院・薬局実務実習Ⅱ（主に薬局での実習）	5通	10			1		1	3			
		総合薬学演習Ⅰ（主として物理・化学・生物・衛生）	6前	1			1	1	2	2			
		総合薬学演習Ⅱ（主として薬理・薬剤・病態・実務）	6後	1			3	1	1				
		卒業研究	5通	4			19	0	0	0			
		小計(71科目)	-	140	0	0	21	8	6	7			兼3
		合計(155科目)	-	180	81	2	21	8	6	7	0		兼41

卒業要件及び履修方法

- 卒業要件 190単位
 ①総合教育 必修24単位
 (人間系4単位、社会系4単位、自然・情報系11単位、総合系1単位、外国語系4単位)
 ②専門基礎 必修16単位
 ③専門 必修140単位
 ④総合教育科目・専門教育科目 選択10単位

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・「倫理学」を「兼1」から「講師1」に変更（教育上の効果を考慮）。
- ・「化学」を「教授1」から「助教1」に変更（教員の負荷を考慮）。
- ・「数学」を「1後」から「1前」に変更（教育上の効果を考慮）。
- ・「情報処理」を「兼1」から「准教授1」に変更（教育上の効果を考慮）。
- ・「生命倫理」を「兼1」から「講師1」に変更（教育上の効果を考慮）。
- ・「英語講読1 (Primary)」を「准教授1, 兼1」から「准教授1」に変更（教育上の効果を考慮）。
- ・「英語CALL1 (Primary)」を「准教授1, 兼1」から「准教授1」に変更（教育上の効果を考慮）。
- ・「英会話」を「准教授1, 兼1」から「准教授1」に変更（教育上の効果を考慮）。
- ・「医学英語Ⅰ（入門）」を「准教授1, 兼1」から「准教授1」に変更（教育上の効果を考慮）。
- ・「医学英語Ⅱ（応用）」を「准教授1, 兼1」から「准教授1」に変更（教育上の効果を考慮）。
- ・「微生物と病気」を「兼1」から「教授3, 准教授2, 講師1」に変更（負荷軽減）。
- ・「基礎薬学実習Ⅱ（生物）」を「教授2, 准教授3」から「教授1, 准教授3」に変更（教育上の効果を考慮）。
- ・「薬学概論」を「教授1」から「教授5, 准教授3, 講師2」に変更し、開講時期を「1後」から「1前」に変更（教育上の効果を考慮）。
- ・「分析化学Ⅰ（溶液中の化学平衡と滴定法）」を「教授1」から「兼1」に変更（教育上の効果を考慮。より専門であること）。
- ・「医薬品構造解析」を「教授1, 講師1, 助教1」から「教授1, 講師1, 助教2」に変更（追加採用による。教育上の効果を考慮）。
- ・「分子生物学Ⅰ（遺伝情報・細胞内情報伝達）」を「准教授1」から「准教授1, 講師1」に変更（追加採用による。教育上の効果を考慮）。
- ・「分子生物学Ⅱ（細胞間コミュニケーション・遺伝）」を「准教授1」から「准教授1, 講師1」に変更（追加採用による。教育上の効果を考慮）。
- ・「解剖生理学Ⅲ（消化器系、呼吸器系、泌尿器系）」を「教授4」から「教授5」に変更（追加採用による。教育上の効果を考慮）。
- ・「疾病と病態生理学Ⅲ（呼吸器系疾患、代謝性疾患等）」を「教授1, 准教授1」から「教授1, 准教授1, 講師1」に変更（追加採用による。教育上の効果を考慮）。
- ・「臨床検査医学」を「教授1, 准教授1」から「教授1」に変更（就任辞退による。教育上支障はない）。
- ・「薬物治療学Ⅰ（神経精神系疾患、内分泌系疾患等）」を「教授2」から「教授3」に変更（追加採用による。教育上の効果を考慮）。
- ・「薬物治療学Ⅱ（循環器系疾患、呼吸器系疾患等）」を「教授1」から「教授1, 助教1」に変更（追加採用による。負荷軽減）。
- ・「薬物治療学Ⅲ（症例・病態解析）」を「教授4, 准教授1」から「教授5, 准教授1, 講師1, 助教1」に変更（追加採用による。負荷軽減）。
- ・「化学系薬学実習Ⅰ（有機合成）」を「教授1, 准教授2, 助教1」から「教授1, 准教授1, 助教2」に変更（就任辞退による。教育上の支障はない）。
- ・「化学系薬学実習Ⅱ（天然資源）」を「教授1, 准教授2, 助教1」から「教授1, 准教授1, 助教2」に変更（就任辞退による。教育上の支障はない）。
- ・「生物系薬学実習」を「教授3, 准教授1」から「教授3, 准教授1, 助教1」に変更（追加採用による。教育上の効果を考慮）。
- ・「分子生物学実習」を「教授2, 准教授3」から「教授2, 准教授3, 助教1」に変更（追加採用による。教育上の効果を考慮）。
- ・「臨床検査医学実習」を「教授4, 准教授2」から「教授5, 准教授1, 助教1」に変更（追加採用・就任辞退による）。
- ・「早期体験実習」を「教授2, 講師3」から「教授3, 講師4, 助教1」に変更（追加採用による。教育上の効果を考慮）。
- ・「総合薬学演習Ⅰ（主として物理・化学・生物・衛生）」を「教授1, 准教授1, 講師1」から「教授1, 准教授1, 講師2, 助教2」に変更（追加採用による。教育上の効果を考慮）。

【令和3年度】

- ・「法学」を「兼1」から「講師1」に変更（教育上の効果を考慮）。
- ・「日本国憲法」を「兼1」から「講師1」に変更（教育上の効果を考慮）。
- ・「英語講読2 (Basic)」を「兼1」から「准教授1」に変更（教育上の効果を考慮）。
- ・「英語CALL2 (Basic)」を「兼1」から「准教授1」に変更（教育上の効果を考慮）。
- ・「英会話」を「准教授1」から「兼1」に変更（負荷軽減）。
- ・「薬学演習Ⅰ（物理系等）」を「講師1」から「教授1, 准教授4, 講師1, 助教2」に変更（教育上の効果を考慮）。
- ・「薬学演習Ⅱ（化学系等）」を「助教1」から「助教2」に変更（教育上の効果を考慮）。
- ・「薬学計算」を「教授1」から「准教授3, 講師1, 助教1」に変更（教育上の効果を考慮）。
- ・「コミュニケーション実習」を「教授2, 講師2, 助教1」から「教授2, 講師3, 助教1」に変更（教育上の効果を考慮）。
- ・「基礎薬学実習Ⅰ（物理）」を「教授2, 准教授1, 講師1, 助教1」から「教授1, 准教授1, 講師1, 助教1」に変更（就任辞退。教育上の支障なし）。
- ・「基礎薬学実習Ⅱ（生物）」を「教授1, 准教授3」から「教授1, 准教授3, 講師1」に変更（教育上の効果を考慮）。
- ・「薬学概論」を「教授5, 准教授3, 講師2」から「教授5, 准教授3, 講師2, 兼1」に変更（教育上の効果を考慮。より専門であること）。
- ・「有機化学Ⅱ（脂肪族化合物2）」を「准教授1」から「教授1」に変更（就任に伴う変更）。
- ・「分析化学Ⅱ（機器分析、分離分析および臨床分析）」を「教授1」から「兼1」に変更（教育上の効果を考慮。より専門であること）。
- ・「医薬品構造解析」を「教授1, 講師1, 助教2」から「教授1, 准教授1, 講師1」に変更（教育上の効果を考慮）。
- ・「分子生物学Ⅱ（細胞間コミュニケーション・遺伝）」を「准教授1, 講師1」から「教授1, 講師1」に変更（教育上の効果を考慮）。
- ・「解剖生理学Ⅱ（神経系、内分泌系）」を「教授4, 兼1」から「教授3, 助教1」に変更（教育上の効果を考慮）。
- ・「解剖生理学Ⅲ（消化器系、呼吸器系、泌尿器系）」を「教授5」から「教授1」に変更（就任遅延等による。教育上の支障なし）。
- ・「免疫学」を「教授1」から「教授2」に変更（就任による負荷軽減）。
- ・「疾病と病態生理学Ⅰ（内分泌系、神経精神系疾患等）」を「准教授1」から「教授3, 講師1」に変更（教育上の効果を考慮）。
- ・「薬理学Ⅰ（総論、末梢神経薬理等）」を「教授1」から「教授1, 准教授1」に変更（追加採用による。負荷軽減）。
- ・「薬理学Ⅳ（呼吸器薬理、内分泌薬理等）」を「教授1」から「教授1, 准教授1」に変更（追加採用による。負荷軽減）。
- ・「薬物治療学Ⅰ（神経精神系疾患、内分泌系疾患等）」を「教授3」から「教授3, 准教授1」に変更（追加採用による。教育上の効果を考慮）。
- ・「薬物治療学Ⅱ（循環器系疾患、呼吸器系疾患等）」を「教授1, 助教1」から「教授1, 准教授1, 助教1」に変更（追加採用による。負荷軽減）。
- ・「薬物治療学Ⅲ（症例・病態解析）」を「教授5, 准教授1, 講師1, 助教1」から「教授5, 准教授2, 講師1, 助教1」に変更（追加採用による。負荷軽減）。
- ・「物理薬理学」を「准教授1」から「教授1, 准教授1」に変更（教育上の効果を考慮）。
- ・「臨床薬学Ⅱ（調剤の実践）」を「教授1, 助教3」から「教授1, 助教1, 兼1」に変更（就任辞退による。教育上の支障なし）。
- ・「臨床薬学Ⅲ（薬物療法の実践）」を「講師1, 助教3」から「講師1, 助教1, 兼1」に変更（就任辞退による。教育上の支障なし）。
- ・「臨床薬学Ⅳ（チーム医療・地域医療の実践その前に）」を「教授1, 講師2, 助教3」から「教授1, 講師2, 助教1, 兼1」に変更（就任辞退による。教育上の支障なし）。
- ・「衛生化学Ⅰ（食品・栄養）」を「教授1」から「講師1」に変更（負荷軽減）。
- ・「OTC医薬品概論」を「助教3」から「助教1, 兼1」に変更（就任辞退による。教育上の支障なし）。
- ・「物理系薬学実習」を「教授2, 准教授1, 講師1, 助教1」から「教授1, 准教授1, 講師1, 助教1」に変更（就任辞退による。教育上の支障なし）。
- ・「早期体験実習」を「教授3, 講師4, 助教1」から「教授2, 准教授1, 講師5, 助教4」に変更（教育上の効果を考慮）。
- ・「医療系薬学実習Ⅰ（調剤の基礎と情報収集）」を「教授1, 講師1, 助教3」から「教授1, 講師1, 助教1, 兼1」に変更（就任辞退による。教育上の支障なし）。
- ・「医療系薬学実習Ⅱ（調剤の基礎と情報収集）」を「教授1, 講師1, 助教3」から「教授1, 講師1, 助教1, 兼1」に変更（就任辞退による。教育上の支障なし）。
- ・「病院・薬局実務実習Ⅰ（主に病院での実習）」を「教授1, 講師1, 助教3」から「教授1, 講師1, 助教1, 兼1」に変更（就任辞退による。教育上の支障なし）。
- ・「病院・薬局実務実習Ⅱ（主に薬局での実習）」を「教授1, 講師1, 助教3」から「教授1, 講師1, 助教1, 兼1」に変更（就任辞退による。教育上の支障なし）。
- ・「卒業研究」を「教授19」から「教授18」に変更（就任辞退による。教育上の支障なし）。

(注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
99 科目	54 科目	2 科目	155 科目	99 科目	54 科	2 科目	155 科目	[]

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	郷土論	1	1	一般	選択	新型コロナウイルス感染症の影響
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「郷土論」については、地元の有識者をゲストとして招聘し、講義を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、大川市長や財界人などのゲストに招聘の見込みが立たなくなりました。次年度以降に開講し、学生が地元である大川市について理解を深めてもらう機会を設けたいと考えています。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{1}{99} = \boxed{1.01} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体 福岡看護学部の新設者変更等に伴う変更(3)		
	校舎敷地	258,383 m ² 276,538 m ²	0 m ²	0 m ²	258,383 m ² 276,538 m ²			
	運動場用地	100,751 m ²	0 m ²	0 m ²	100,751 m ²			
	小 計	359,134 m ² 377,289 m ²	0 m ²	0 m ²	359,134 m ² 377,289 m ²			
	そ の 他	113,975 m ²	0 m ²	0 m ²	113,975 m ²			
	合 計	473,109 m ² 491,264 m ²	0 m ²	0 m ²	473,109 m ² 491,264 m ²			
(2) 校舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体 福岡看護学部の新設者変更等に伴う変更(3)			
	217,133 m ² 223,203 m ² (189,135 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	217,133 m ² 223,203 m ² (189,135 m ²)				
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 福岡看護学部の新設者変更等に伴う変更(3)		
	201室 216室	179室 194室	323室 327室	23室 24室 (補助職員 8人)	9室 10室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			大学全体 福岡看護学部の新設者変更等に伴う変更(3)		
	福岡薬学部		377 403 室 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	大学全体 福岡看護学部の新設者変更等に伴う変更(3)
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル				
	冊	種	[うち外国書]	点	点	点		
	福岡薬学部	258,087[30,478] 231,359[32,678] (191,759[25,797])	4,563[915] 4,943[1,411] (4,623[1,302])	11,457[9,979] 7,837[6,493] (7,837[6,493])	6,943 6383 (5,175)	132,726 130816 (92,550)	2,195 (1,681)	
計	258,087[30,478] 231,359[32,678] (191,759[25,797])	4,563[915] 4,943[1,411] (4,623[1,302])	11,457[9,979] 7,837[6,493] (7,837[6,493])	6,943 6383 (5,175)	132,726 130816 (92,550)	2,195 (1,681)		
(6) 図書館	面 積		閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数		福岡看護学部の新設者変更等に伴う変更(3)	
	8,081 m ² 8,564 m ²		1,691 席 1,853 席		354,777 冊 367,360 冊			
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	7,456 m ²		弓道場		テニスコート			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	44,000千円	6,000千円	図書購入費	17,391千円 44,000千円	6,000千円	6,000千円
	共同研究費等	339,031千円	3,500千円	設備購入費	264,209千円 339,031千円	377,136千円 275,400千円	3,500千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,750千円	1,630千円	1,630千円	1,630千円	1,630千円	1,630千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		手数料収入、資産運用収入 等						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	国際医療福祉大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍		年度	年度	年度	
医学部	6	140	-	700	-	1.00	1.00	-	平成29年度	-	
医学科	6	140	-	700	学士(医学)	1.00		-	平成29年度	千葉県成田市公津の杜4丁目3番	
保健医療学部	4	535	-	2,160	-	1.02	1.02	-	平成7年度	-	
看護学科	4	115	-	460	学士(看護学)	1.01	1.04	-	平成7年度	栃木県大田原市北金丸2600番1	
理学療法学科	4	100	-	400	学士(理学療法学)	1.01	1.05	-	平成7年度	同上	
作業療法学科	4	80	-	320	学士(作業療法学)	0.98	1.01	-	平成7年度	同上	
言語聴覚学科	4	80	-	320	学士(言語聴覚学)	1.03	1.01	-	平成7年度	同上	
視機能療法学	4	50	-	200	学士(視機能療法学)	1.04	1.04	-	平成14年度	同上	
放射線・情報科学	4	110	-	460	学士(放射線・情報科学)	1.03	1.04	-	平成7年度	同上	
医療福祉学部	4	140	5	570	-	1.02	1.01	-	平成9年度	-	
医療福祉・マネジメント学科	4	140	5	570	学士(医療福祉学) 学士(医療マネジメント学)	1.02	1.01	-	平成9年度	同上	
薬学部	6	180	-	1,080	-	1.05	1.04	-	平成18年度	-	
薬学科	6	180	-	1,080	学士(薬学)	1.05	1.04	-	平成18年度	同上	
小田原保健医療学部	4	200	-	800	-	1.06	1.07	-	平成18年度	-	
看護学科	4	80	-	320	学士(看護学)	1.08	1.08	-	平成18年度	神奈川県小田原市城山一丁目2番25号	
理学療法学科	4	80	-	320	学士(理学療法学)	1.04	1.06	-	平成18年度	同上	
作業療法学科	4	40	-	160	学士(作業療法学)	1.05	1.05	-	平成18年度	同上	
福岡保健医療学部	4	220	-	920	-	1.06	1.03	-	平成17年度	-	
理学療法学科	4	60	-	280	学士(理学療法学)	1.06	1.01	-	平成17年度	福岡県大川市榎津137-1	
作業療法学科	4	40	-	160	学士(作業療法学)	1.02	1.00	-	平成17年度	同上	
言語聴覚学科	4	40	-	160	学士(言語聴覚学)	1.03	1.05	-	平成19年度	同上	
医学検査学科	4	80	-	320	学士(医学検査学)	1.09	1.05	-	平成25年度	同上	
福岡薬学部	6	120	-	240	-	1.06	1.02	-	令和2年度	-	
薬学科	6	120	-	240	学士(薬学)	1.06	1.02	-	令和2年度	同上	

既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地
成田看護学部	4	100	-	400	-	1.09	1.08	-	平成28年度	-
看護学科	4	100	-	400	学士(看護学)	1.09	1.08	-	平成28年度	千葉県成田市公津の杜4丁目3番
成田保健医療学部	4	290	-	1,060	-	1.08	1.08	-	平成28年度	-
理学療法学科	4	80	-	320	学士(理学療法学)	1.08	1.08	-	平成28年度	同上
作業療法学科	4	40	-	160	学士(作業療法学)	1.08	1.07	-	平成28年度	同上
言語聴覚学科	4	40	-	160	学士(言語聴覚学)	1.06	1.07	-	平成28年度	同上
放射線・情報科学科	4	50	-	100	学士(放射線・情報科学)	1.08	1.08	-	令和2年度	同上
医学検査学科	4	80	-	320	学士(医学検査学)	1.08	1.08	-	平成28年度	同上
赤坂心理・医療福祉マネジメント学部	4	120	-	480	-	1.05	1.05	-	平成30年度	-
心理学科	4	60	-	240	学士(心理学)	1.07	1.03	-	平成30年度	東京都港区赤坂4丁目1-26
医療マネジメント学科	4	60	-	240	学士(医療マネジメント学)	1.03	1.06	-	平成30年度	同上
大学全体	-	2,045	5	8,410	-	-	-	-	平成7年度	-

大学の名称	国際医療福祉大学大学院						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	1	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
医療福祉学研究科 修士課程	年	人	年次人	人	-	倍	1.09	0.94	平成11年度	-	
保健医療学専攻	2	235	-	470	修士(保健医療学)	1.29	1.07	-	平成11年度	栃木県大田原市北金丸2600番1	
					修士(看護学)			-			
					修士(助産学)			-			
					修士(言語聴覚学)			-			
					修士(生殖補助医療学)			-			
					修士(医療福祉教育・管理学)			-			
					修士(臨床検査学)			-			
					修士(災害医療学)			-			
					修士(遺伝カウンセリング学)			-			

既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地
医療福祉経営専攻	2	50	-	100	修士 (医療福祉学)	1.06	0.92	-	平成13年度	同上
					修士 (診療情報管理学)					
					修士 (医療ビジネス経営学)					
					修士 (医療福祉管理学)					
					修士 (医療福祉国際協力学)					
					修士 (介護福祉・ケアマネジメント学)					
					修士 (自立支援介護学)					
					修士 (自立支援実践ケアマネジメント学)					
					修士 (医療福祉ジャーナリズム学)					
					修士 (医療通訳・国際医療ケアマネジメント学)					
臨床心理学専攻	2	25	-	50	修士 (臨床心理学)	0.90	0.84	-	平成19年度	同上
医療福祉学研究科 博士課程	3	70	-	210	-	1.14	1.00	-	平成13年度	-
保健医療学専攻	3	70	-	210	博士 (保健医療学)	1.14	1.00	-	平成13年度	同上
					博士 (看護学)					
					博士 (助産学)					
					博士 (言語聴覚学)					
					博士 (生殖補助医療学)					
					博士 (医療福祉教育・管理学)					
					博士 (臨床検査学)					
博士 (医療遺伝学)										

既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地
					博士 (医療福祉経営学)			-		
					博士 (医療福祉学)			-		
					博士 (診療情報管理学)			-		
					博士 (医療福祉国際協力学)			-		
					博士 (介護福祉・ケアマネジメント学)			-		
					博士 (臨床心理学)			-		
					博士 (医療福祉ジャーナリズム学)			-		
薬科学研究科 修士課程	2	5	-	10	-	0.20	0.20	-	平成22年度	-
生命薬科学専攻	2	5	-	10	修士 (薬科学)	0.20	0.20	-	平成22年度	同上
薬学研究科 博士課程	4	5	-	20	-	0.75	1.00	-	平成24年度	-
医療・生命薬学 専攻	4	5	-	20	博士 (薬学)	0.75	1.00	-	平成24年度	同上
医学研究科 修士課程	2	10	-	20	-	2.05	2.10	-	平成30年度	-
公衆衛生学専攻	2	10	-	20	修士 (公衆衛生学)	2.05	2.10	-	平成30年度	千葉県成田市公津の杜4丁目3番
					修士 (医科学)					
医学研究科 博士課程	4	20	-	80	-	1.08	1.25	-	平成30年度	-
医学専攻	4	20	-	80	博士 (医学)	1.08	1.25	-	平成30年度	同上
大学院全体	-	345	-	810	-	1.04	1.04	-	平成11年度	-

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください。
・学部/学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
			専	教授	梶岡 俊一 (59) <令和2年4月> 博士(医学)		専	教授	梶岡 俊一 (60) <令和2年4月> 博士(医学)		
			専	教授	高松 千洋 (54) <令和2年4月> 博士(医学)		専	教授	高松 千洋 (55) <令和2年4月> 博士(医学)		
専	准教授	表 昭浩 (56) <令和2年4月> 修士(教育学)	専	准教授	表 昭浩 (57) <令和2年4月> 修士(教育学)	専	准教授	表 昭浩 (58) <令和2年4月> 修士(教育学)			
専	准教授	吉武 康之 (52) <令和2年4月> 博士(薬学)	専	准教授	吉武 康之 (53) <令和2年4月> 博士(薬学)	専	准教授	吉武 康之 (54) <令和2年4月> 博士(薬学)			
専	准教授	宗像 達夫 (49) <令和3年4月> 博士(薬学)	専	准教授	宗像 達夫 (50) <令和2年4月> 博士(薬学)	専	准教授	宗像 達夫 (51) <令和2年4月> 博士(薬学)			
専	准教授	矢口 貴博 (47) <令和2年4月> 博士(医学)									
専	准教授	山本 緑 (46) <令和2年4月> 博士(薬学)	専	准教授	山本 緑 (47) <令和2年4月> 博士(薬学)	専	准教授	山本 緑 (48) <令和2年4月> 博士(薬学)			
専	准教授	塚本 宏樹 (43) <令和2年4月> 博士(薬学)	専	准教授	塚本 宏樹 (44) <令和2年4月> 博士(薬学)	専	准教授	塚本 宏樹 (45) <令和2年4月> 博士(薬学)			
専	准教授	多田 納 豊 (41) <令和2年4月> 博士(薬学)	専	准教授	多田 納 豊 (42) <令和2年4月> 博士(薬学)	専	准教授	多田 納 豊 (43) <令和2年4月> 博士(薬学)			
専	准教授	宮川 和也 (40) <令和2年4月> 博士(薬学)	専	准教授	宮川 和也 (41) <令和4年4月> 博士(薬学)	専	准教授	宮川 和也 (41) <令和4年4月> 博士(薬学)			
専	准教授	中村 優理 (38) <令和3年4月> 博士(医学)	専	准教授	中村 優理 (39) <令和2年4月> 博士(医学)	専	准教授	中村 優理 (39) <令和2年4月> 博士(医学)			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	講師	中矢 正 (47) <令和2年4月> 博士(薬学)	専	講師	中矢 正 (48) <令和2年4月> 博士(薬学)	専	准教授	齊藤 秀俊 (44) <令和3年4月> 博士(薬学)			
		基礎薬学実習Ⅰ(物理) 薬学演習Ⅰ(物理系等) 医薬品構造解析 物理系薬学実習 放射化学 総合薬学演習Ⅰ(主として物理・化学・生物・衛生)			基礎薬学実習Ⅰ(物理) 薬学演習Ⅰ(物理系等) 医薬品構造解析 物理系薬学実習 放射化学 総合薬学演習Ⅰ(主として物理・化学・生物・衛生) 早期体験実習			薬理学Ⅰ(総論、末梢神経薬理等) 薬理学Ⅱ(中枢神経薬理、免疫・炎症薬理等) 薬理学Ⅲ(循環器薬理、消化器薬理等) 薬理学Ⅳ(呼吸器薬理、内分泌薬理等) 薬物治療Ⅰ(神経精神系疾患、内分泌系疾患等) 薬物治療Ⅱ(循環器系疾患、呼吸器系疾患等) 薬物治療Ⅲ(症例・病態解析)			
専	講師	今井 竜也 (45) <令和2年4月> 博士(学術)	専	講師	今井 竜也 (46) <令和2年4月> 博士(学術)	専	講師	今井 竜也 (47) <令和2年4月> 博士(学術)			
		衛生系薬学実習 医療関係法規 臨床薬Ⅳ(チーム医療・地域医療の実践その前に) 公衆衛生学 早期体験実習 コミュニケーション実習 関連職種連携ワーク			衛生系薬学実習 医療関係法規 臨床薬Ⅳ(チーム医療・地域医療の実践その前に) 公衆衛生学 早期体験実習 コミュニケーション実習 関連職種連携ワーク 生命倫理 倫理学 法学 日本国憲法			衛生系薬学実習 医療関係法規 臨床薬Ⅳ(チーム医療・地域医療の実践その前に) 公衆衛生学 早期体験実習 コミュニケーション実習 関連職種連携ワーク 生命倫理 倫理学 法学 日本国憲法 薬学概論 微生物と病気			
専	講師	宗像 千恵 (43) <令和2年4月> 博士(薬学)	専	講師	宗像 千恵 (44) <令和2年4月> 博士(薬学)	専	講師	宗像 千恵 (45) <令和2年4月> 博士(薬学)			
		医薬品情報学Ⅰ(医薬品情報の収集と活用) 臨床薬Ⅰ(調剤の基礎) 医療系薬学実習Ⅰ(調剤の基礎と情報収集) 医療系薬学実習Ⅱ(調剤の実践と服薬指導) 臨床薬Ⅲ(薬物療法の実践) 病院・薬局実務実習Ⅰ(主に病院での実習) 病院・薬局実務実習Ⅱ(主に薬局での実習) 医薬品情報学Ⅱ(EBMと臨床研究) 臨床薬Ⅳ(チーム医療・地域医療の実践その前に) 早期体験実習 関連職種連携実習 総合薬学演習Ⅱ(主として薬理・薬劑・病態・実務)			医薬品情報学Ⅰ(医薬品情報の収集と活用) 臨床薬Ⅰ(調剤の基礎) 医療系薬学実習Ⅰ(調剤の基礎と情報収集) 医療系薬学実習Ⅱ(調剤の実践と服薬指導) 臨床薬Ⅲ(薬物療法の実践) 病院・薬局実務実習Ⅰ(主に病院での実習) 病院・薬局実務実習Ⅱ(主に薬局での実習) 医薬品情報学Ⅱ(EBMと臨床研究) 臨床薬Ⅳ(チーム医療・地域医療の実践その前に) 早期体験実習 関連職種連携実習 総合薬学演習Ⅱ(主として薬理・薬劑・病態・実務) 薬学概論			医薬品情報学Ⅰ(医薬品情報の収集と活用) 臨床薬Ⅰ(調剤の基礎) 医療系薬学実習Ⅰ(調剤の基礎と情報収集) 医療系薬学実習Ⅱ(調剤の実践と服薬指導) 臨床薬Ⅲ(薬物療法の実践) 病院・薬局実務実習Ⅰ(主に病院での実習) 病院・薬局実務実習Ⅱ(主に薬局での実習) 医薬品情報学Ⅱ(EBMと臨床研究) 臨床薬Ⅳ(チーム医療・地域医療の実践その前に) 早期体験実習 関連職種連携実習 総合薬学演習Ⅱ(主として薬理・薬劑・病態・実務) 薬学概論 薬学計算			
専	講師	朴 珍相 (39) <令和2年4月> 博士(医療福祉経営学)	専	講師	朴 珍相 (40) <令和2年4月> 博士(医療福祉経営学)	専	講師	朴 珍相 (41) <令和2年4月> 博士(医療福祉経営学)			
		医薬品情報学Ⅱ(EBMと臨床研究) 衛生系薬学実習 医療関係法規 公衆衛生学 早期体験実習 コミュニケーション実習			医薬品情報学Ⅱ(EBMと臨床研究) 衛生系薬学実習 医療関係法規 公衆衛生学 早期体験実習 コミュニケーション実習			医薬品情報学Ⅱ(EBMと臨床研究) 衛生系薬学実習 医療関係法規 公衆衛生学 早期体験実習 コミュニケーション実習			
			専	講師	今村 友裕 (44) <令和2年4月> 博士(医学)	専	講師	今村 友裕 (45) <令和2年4月> 博士(医学)			
					薬物治療Ⅲ(症例・病態解析) 疾病と病態生理学Ⅲ(呼吸器系疾患、代謝性疾患等)			薬物治療Ⅲ(症例・病態解析) 疾病と病態生理学Ⅲ(呼吸器系疾患、代謝性疾患等) 疾病と病態生理学Ⅰ(内分泌系、神経精神系疾患等)			
			専	講師	貝塚 拓 (41) <令和2年4月> 博士(薬学)	専	講師	貝塚 拓 (42) <令和2年4月> 博士(薬学)			
					基礎薬学実習Ⅱ(生物) 分子生物学Ⅰ(遺伝情報・細胞内情報伝達) 分子生物学Ⅱ(細胞間コミュニケーション・遺伝) 分子生物学実習 総合薬学演習Ⅰ(主として物理・化学・生物・衛生)			基礎薬学実習Ⅱ(生物) 分子生物学Ⅰ(遺伝情報・細胞内情報伝達) 分子生物学Ⅱ(細胞間コミュニケーション・遺伝) 分子生物学実習 総合薬学演習Ⅰ(主として物理・化学・生物・衛生) 衛生化学Ⅰ(食品・栄養) コミュニケーション実習 早期体験実習			
専	助教	久保 明子 (37) <令和3年4月> 修士(薬学)	専	助教	久保 明子 (38) <令和3年4月> 修士(薬学)						
		医療系薬学実習Ⅰ(調剤の基礎と情報収集) OTC医薬品概論 臨床薬Ⅱ(調剤の実践) 医療系薬学実習Ⅱ(調剤の実践と服薬指導) 臨床薬Ⅲ(薬物療法の実践) 病院・薬局実務実習Ⅰ(主に病院での実習) 病院・薬局実務実習Ⅱ(主に薬局での実習) 臨床薬Ⅳ(チーム医療・地域医療の実践その前に)			医療系薬学実習Ⅰ(調剤の基礎と情報収集) OTC医薬品概論 臨床薬Ⅱ(調剤の実践) 医療系薬学実習Ⅱ(調剤の実践と服薬指導) 臨床薬Ⅲ(薬物療法の実践) 病院・薬局実務実習Ⅰ(主に病院での実習) 病院・薬局実務実習Ⅱ(主に薬局での実習) 臨床薬Ⅳ(チーム医療・地域医療の実践その前に)						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			
			兼任	准教授	下井 俊典 (50) <令和2年4月> 博士(保健医療学)									
					関連職種連携論									
			兼任	准教授	永井 良治 (46) <令和2年4月> 博士(保健医療学)									
					関連職種連携ワーク									
兼任	教授	栗原 正明 (63) <令和4年4月> 博士(薬学)	兼任	教授	栗原 正明 (64) <令和4年4月> 博士(薬学)									
		日本薬局方			日本薬局方									
兼任	教授	村上 大介 (63) <令和2年4月> 学士	兼任	教授	村上 大介 (64) <令和2年4月> 学士									
		国際関係論			国際関係論									
兼任	教授	黒澤 和生 (62) <令和2年4月> 博士(保健学)	兼任	教授	黒澤 和生 (63) <令和2年4月> 博士(保健学)									
		医学/医療史			医学/医療史									
兼任	教授	永沢 善三 (60) <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	教授	永沢 善三 (61) <令和2年4月> 博士(医学)									
		大学入門講座Ⅱ(展開) 大学入門講座Ⅰ(基礎) 微生物と病気			大学入門講座Ⅱ(展開) 大学入門講座Ⅰ(基礎) 微生物と病気									
兼任	教授	為数 哲司 (59) <令和2年4月> 博士(人間科学)	兼任	教授	為数 哲司 (60) <令和2年4月> 博士(人間科学)									
		郷土論～大川学～			郷土論～大川学～									
兼任	教授	後藤 純信 (58) <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	教授	後藤 純信 (59) <令和2年4月> 博士(医学)									
		国際医療福祉論			国際医療福祉論									
兼任	教授	羽田 明浩 (56) <令和2年4月> 博士(経営学)												
		組織運営管理論												
			兼任	講師	澤端 智良 (45) <令和2年4月> 修士(経営学)									
					組織運営管理論									
兼任	教授	森田 正治 (55) <令和2年4月> 博士(医学)												
		リハビリテーション概論												
			兼任	教授	金子 秀雄 (50) <令和2年4月> 博士(保健医療学)									
					リハビリテーション概論									
兼任	教授	加藤 尚子 (55) <令和2年4月> 博士(ヒューマン・ケア科学)	兼任	教授	加藤 尚子 (56) <令和2年4月> 博士(ヒューマン・ケア科学)									
		文化人類学			文化人類学									
兼任	教授	谷口 敬道 (53) <令和2年4月> 博士(工学)	兼任	教授	谷口 敬道 (54) <令和2年4月> 博士(工学)									
		メディカルマナー入門 医療福祉教養講義			メディカルマナー入門 医療福祉教養講義									
			兼任	特任教授	山口 政俊 (67) <令和2年4月> 博士(医学)									
					分析化学Ⅰ(溶液中の化学平衡と滴定法) 分析化学Ⅱ(機器分析、分離分析および臨床分析) 薬学概論									

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	小野寺 敦志 (55) <令和3年4月> 修士(人間科学)	兼任	准教授	小野寺 敦志 (56) <令和3年4月> 修士(人間科学)	兼任	准教授	小野寺 敦志 (57) <令和3年4月> 修士(人間科学)						
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～			雑談と傾聴～話す力と聴く力～			雑談と傾聴～話す力と聴く力～						
兼任	准教授	光山 奈保子 (51) <令和2年4月> 博士(学術)	兼任	准教授	光山 奈保子 (52) <令和2年4月> 博士(学術)	兼任	准教授	光山 奈保子 (53) <令和2年4月> 博士(学術)						
		経済の仕組み			経済の仕組み			経済の仕組み						
兼任	准教授	安本 誠一 (53) <令和2年4月> 博士(理学)	兼任	准教授	安本 誠一 (54) <令和2年4月> 博士(理学)	兼任	准教授	安本 誠一 (55) <令和2年4月> 博士(理学)						
		物理学 統計学 情報処理 数学			物理学 統計学 情報処理 数学			物理学 統計学 情報処理 数学						
兼任	准教授	佐藤 忠章 (48) <令和3年4月> 博士(薬学)	兼任	准教授	佐藤 忠章 (49) <令和3年4月> 博士(薬学)	兼任	准教授	佐藤 忠章 (49) <令和3年4月> 博士(薬学)						
		生薬学 天然物化学 漢方医学Ⅰ(漢方の基礎) 漢方医学Ⅱ(漢方の応用)			生薬学 天然物化学 漢方医学Ⅰ(漢方の基礎) 漢方医学Ⅱ(漢方の応用)			生薬学 天然物化学 漢方医学Ⅰ(漢方の基礎) 漢方医学Ⅱ(漢方の応用)						
兼任	准教授	福井 謙 (47) <令和2年4月> 博士(学術)	兼任	准教授	福井 謙 (48) <令和2年4月> 博士(学術)	兼任	准教授	福井 謙 (49) <令和2年4月> 博士(学術)						
		日本近現代史			日本近現代史			日本近現代史						
兼任	准教授	坂本 真史 (45) <令和2年4月> 法務博士(専門職)												
		法学 日本国憲法												
兼任	准教授	大石 剛史 (43) <令和2年4月> 修士(社会福祉学)	兼任	准教授	大石 剛史 (44) <令和2年4月> 修士(社会福祉学)	兼任	准教授	大石 剛史 (45) <令和2年4月> 修士(社会福祉学)						
		ボランティア論			ボランティア論			ボランティア論						
兼任	講師	徳江 武 (51) <令和2年4月> 修士(文学)	兼任	准教授	徳江 武 (52) <令和2年4月> 修士(文学)	兼任	准教授	徳江 武 (52) <令和2年4月> 修士(文学)						
		英語CALL1 (Primary) 医学英語Ⅰ(入門) 資格英語Ⅰ (Primary) 英語講義Ⅰ (Primary) 英会話 医学英語Ⅱ(応用) 資格英語2 (Basic) 英語講義2 (Basic) 実用英会話 英語CALL2 (Basic)			英語CALL1-(Primary)- 医学英語Ⅰ-(入門)- 資格英語Ⅰ (Primary)- 英語講義Ⅰ-(Primary)- 英会話 医学英語Ⅱ-(応用)- 資格英語2 (Basic)- 英語講義2 (Basic)- 実用英会話 英語CALL2 (Basic)			英語CALL1-(Primary)- 医学英語Ⅰ-(入門)- 資格英語Ⅰ (Primary)- 英語講義Ⅰ-(Primary)- 英会話 医学英語Ⅱ-(応用)- 資格英語2 (Basic)- 英語講義2 (Basic)- 実用英会話 英語CALL2-(Basic)-						
兼任	講師	義田 俊之 (44) <令和2年4月> 修士(人間環境学)	兼任	講師	義田 俊之 (45) <令和2年4月> 修士(人間環境学)	兼任	講師	義田 俊之 (46) <令和2年4月> 修士(人間環境学)						
		臨床心理学概論			臨床心理学概論 心理学			臨床心理学概論 心理学						
兼任	講師	白岩 英樹 (43) <令和2年4月> 博士(芸術文化学)												
		文学論 演劇論												
			兼任	講師	山内 則史 (55) <令和2年4月> 学士	兼任	講師	山内 則史 (56) <令和2年4月> 学士						
					文学論 演劇論			文学論 演劇論						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名
兼任	講師	豊増 有紀子 (37) <令和2年4月> 修士(応用言語学)Master of Education in Applied Linguistics※ オーストラリア	兼任	豊増 有紀子 (38) <令和2年4月> 修士(応用言語学)Master of Education in Applied Linguistics※ オーストラリア	兼任	豊増 有紀子 (39) <令和2年4月> 修士(応用言語学)Master of Education in Applied Linguistics※ オーストラリア		
		作文・読解Ⅰ(入門) 作文・読解Ⅱ(応用) 文法・語彙Ⅰ(入門) 文法・語彙Ⅱ(応用) 文法・語彙Ⅲ(完成) 発表・討論Ⅰ(応用) 医療福祉専門漢字 作文・読解Ⅲ(完成) 発表・討論Ⅱ(完成) 医療福祉専門語彙 日本語基礎Ⅰ(初級) 日本語基礎Ⅱ(初級)		作文・読解Ⅰ(入門) 作文・読解Ⅱ(応用) 文法・語彙Ⅰ(入門) 文法・語彙Ⅱ(応用) 文法・語彙Ⅲ(完成) 発表・討論Ⅰ(応用) 医療福祉専門漢字 作文・読解Ⅲ(完成) 発表・討論Ⅱ(完成) 医療福祉専門語彙 日本語基礎Ⅰ(初級) 日本語基礎Ⅱ(初級)		作文・読解Ⅰ(入門) 作文・読解Ⅱ(応用) 文法・語彙Ⅰ(入門) 文法・語彙Ⅱ(応用) 文法・語彙Ⅲ(完成) 発表・討論Ⅰ(応用) 医療福祉専門漢字 作文・読解Ⅲ(完成) 発表・討論Ⅱ(完成) 医療福祉専門語彙 日本語基礎Ⅰ(初級) 日本語基礎Ⅱ(初級)		
兼任	講師	鶴田 利郎 (35) <令和2年4月> 博士(人間科学)	兼任	鶴田 利郎 (36) <令和2年4月> 博士(人間科学)	兼任	鶴田 利郎 (36) <令和2年4月> 博士(人間科学)		
		教育学		教育学		教育学		
兼任	講師	酒見 隆信 (71) <令和2年4月> 博士(医学)						
		健康科学理論						
			兼任	教授	兼任	教授		
				金子 純一朗 (50) <令和2年4月> 博士(保健医療学)		金子 純一朗 (51) <令和2年4月> 博士(保健医療学)		
				健康科学理論		健康科学理論		
兼任	講師	石橋 和博 (71) <令和2年4月> 学士						
		健康科学実践						
			兼任	講師				
				西田 明人 (44) <令和2年4月> 修士(体育学)				
				健康科学実践				
					兼任	講師		
						渡瀬 浩介 (64) <令和3年4月> 学士(体育学)		
						健康科学実践		
兼任	講師	杉山 徹 (68) <令和3年4月> 博士(医学)						
		解剖生理学Ⅱ(神経系、内分泌系)						
兼任	講師	小牧 元 (68) <令和2年4月> 博士(医学)						
		心理学 生命倫理						
兼任	講師	小野 充一 (67) <令和2年4月> 医学博士	兼任	小野 充一 (68) <令和2年4月> 医学博士	兼任	小野 充一 (69) <令和2年4月> 医学博士		
		死生学-死を通して生を考える-		死生学-死を通して生を考える-		死生学-死を通して生を考える-		
兼任	講師	戸松 義晴 (66) <令和2年4月> 文学修士Master of Divinity※米国	兼任	戸松 義晴 (67) <令和2年4月> 文学修士Master of Divinity※米国	兼任	戸松 義晴 (68) <令和2年4月> 文学修士Master of Divinity※米国		
		宗教学		宗教学		宗教学		
兼任	講師	財津 裕一 (66) <令和2年4月> 医学博士	兼任	財津 裕一 (67) <令和2年4月> 医学博士	兼任	財津 裕一 (67) <令和2年4月> 医学博士		
		保健医療福祉制度論		保健医療福祉制度論		保健医療福祉制度論		
兼任	講師	李 尚恩 (51) <令和2年4月> 外国語学士※韓国	兼任	李 尚恩 (52) <令和2年4月> 外国語学士※韓国	兼任	李 尚恩 (53) <令和2年4月> 外国語学士※韓国		
		韓国語 実用韓国語会話		韓国語 実用韓国語会話		韓国語 実用韓国語会話		
兼任	講師	大谷 久也 (49) <令和2年4月> 修士(健康福祉学)	兼任	大谷 久也 (50) <令和2年4月> 修士(健康福祉学)	兼任	大谷 久也 (51) <令和2年4月> 修士(健康福祉学)		
		社会学 ケアマネジメント論		社会学 ケアマネジメント論		社会学 ケアマネジメント論		
兼任	講師	吉原 雅子 (47) <令和2年4月> 博士(人文科学)	兼任	吉原 雅子 (48) <令和2年4月> 博士(人文科学)				
		哲学		哲学				

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			
兼任	講師	黄 慶旭 (46) <令和2年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	黄 慶旭 (47) <令和2年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	黄 慶旭 (48) <令和2年4月> 修士(教育学)						
		韓国語 実用韓国語会話			韓国語 実用韓国語会話			韓国語 実用韓国語会話						
兼任	講師	王 美蘭 (46) <令和2年4月> 博士(法学)	兼任	講師	王 美蘭 (47) <令和2年4月> 博士(法学)	兼任	講師	王 美蘭 (48) <令和2年4月> 博士(法学)						
		中国語 実用中国語会話			中国語 実用中国語会話			中国語 実用中国語会話						
兼任	講師	東野 充成 (43) <令和2年4月> 博士(教育学)	兼任	講師	東野 充成 (44) <令和2年4月> 博士(教育学)	兼任	講師	東野 充成 (45) <令和2年4月> 博士(教育学)						
		コミュニケーション概論			コミュニケーション概論			コミュニケーション概論 教育学						
兼任	講師	田島 望 (41) <令和2年4月> 修士(社会福祉学)	兼任	講師	田島 望 (42) <令和2年4月> 修士(社会福祉学)	兼任	講師	田島 望 (43) <令和2年4月> 修士(社会福祉学)						
		社会保障制度論			社会保障制度論			社会保障制度論						
兼任	講師	土持 貴志 (29) <令和2年4月> 修士(文学)	兼任	講師	土持 貴志 (30) <令和2年4月> 修士(文学)	兼任	講師	土持 貴志 (31) <令和3年4月> 修士(文学)						
		倫理学			倫理学			倫理学 哲学						
						兼任	講師	Law Ching Keat (Manuel) (58) <令和3年4月> 修士(社会心理学)						
								英会話 実用英会話						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、結めてください。

(1) -②担当教員表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・令和2年4月梶岡俊一教授就任。
- ・令和2年4月高松千洋教授就任。
- ・令和2年4月宗像達夫准教授就任（前倒し）。
- ・令和2年4月矢口貴博准教授就任辞退（本務先の都合による）。
- ・令和2年4月宮川和也准教授、令和4年4月に就任遅延（本務先の都合による）。
- ・令和2年4月中村優里准教授就任（前倒し）。
- ・令和2年4月今村友裕講師就任。
- ・令和2年4月貝塚拓講師就任。
- ・令和2年4月磯田紀之助教就任。
- ・令和2年4月柴田健太郎助教就任。

【令和3年度】

- ・令和3年4月山本聡教授、令和4年4月に就任遅延（本務先の都合による）。
- ・令和3年4月小野恭裕教授、令和4年4月に就任遅延（本務先の都合による）。
- ・令和3年4月浜田俊幸教授就任辞退（本務先の都合による）。
- ・令和3年4月齊藤秀俊准教授就任。
- ・令和3年4月久保明子助教就任辞退（本務先の都合による）。
- ・令和3年4月藤七穂助教就任辞退（本務先の都合による）。
- ・令和3年4月村山裕一助教、令和4年4月に就任遅延（本務先の都合による）。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和元年度開設であれば平成30年度）の表は適宜削除してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	准教授	矢口 貴博	R2.4	必修	化学系薬学実習Ⅰ（有機合成）	①	R2.4本務先の都合のため就任辞退（R2）			
				選択	化学系薬学実習Ⅱ（天然資源）	①				
				必修	疾病と病態生理学Ⅱ（循環器系疾患、消化器系疾患等）	①				
				必修	臨床検査医学	①				
				必修	臨床検査医学実習	①				
2	教授	浜田 俊幸	R3.4	必修	基礎薬学実習Ⅰ（物理）	①	R3.4本務先の都合のため就任辞退（R3）			
				必修	分析化学Ⅰ（溶液中の化学平衡と滴定法）	①				
				必修	物理系薬学実習	①				
				必修	製剤設計とDDS	①				
				必修	薬学計算	①				
				必修	卒業研究	①				
3	助教	久保 明子	R3.4	必修	医療系薬学実習Ⅰ（調剤の基礎と情報収集）	①	R3.4本務先の都合のため就任辞退（R3）			
				必修	OTC医薬品概論	①				
				必修	臨床薬学Ⅱ（調剤の実践）	①				
				必修	医療系薬学実習Ⅱ（調剤の実践と服薬指導）	①				
				必修	臨床薬学Ⅲ（薬物療法の実践）	①				
				必修	病院・薬局実務実習Ⅰ（主に病院での実習）	①				
				必修	病院・薬局実務実習Ⅱ（主に薬局での実習）	①				
4	助教	藤 七穂	R3.4	必修	医療系薬学実習Ⅰ（調剤の基礎と情報収集）	①	R3.4本務先の都合のため就任辞退（R3）			
				必修	OTC医薬品概論	①				
				必修	臨床薬学Ⅱ（調剤の実践）	②				
				必修	医療系薬学実習Ⅱ（調剤の実践と服薬指導）	①				
				必修	臨床薬学Ⅲ（薬物療法の実践）	②				
				必修	病院・薬局実務実習Ⅰ（主に病院での実習）	①				
				必修	病院・薬局実務実習Ⅱ（主に薬局での実習）	①				
合計（D）				後任補充状況の集計（E）						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）		
4	人	必修	22	科目	必修	20	科目	必修	2	科目
		選択	0	科目	選択		科目	選択		科目
		自由	0	科目	自由		科目	自由		科目
		計	22	科目	計	20	科目	計	2	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由

合計 (F)			後任補充状況の集計 (G)					
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0 人	必修	0 科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	0 科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	0 科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	0 科目	計	科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
4 人	必修	22 科目	必修	20 科目	必修	2 科目	必修	0 科目
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	22 科目	計	20 科目	計	2 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{4}{37} = 10.81 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

3 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
合計			後任補充状況の集計					
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0 人	必修	0 科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	0 科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	0 科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未就任の教員3名が辞任しているが、教育上支障のないよう、専任または兼任教員でカバーしていく。なお、就任辞退であるため、学生には告知していない。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
35 名	18 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
19	9	4	5	37	0	17	8	6	4	35	0
(13)	(7)	(4)	(1)	(25)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
20	9	6	5	40	0	20	9	6	5	40	0
[1]	[0]	[2]	[0]	[3]	[0]	[1]	[0]	[2]	[0]	[3]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	5 名	7 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{40}{37} = \boxed{108.1} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{5}{35} = \boxed{14.28} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和元年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和2年)	該当なし		

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<福岡薬学部 薬学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
早期体験実習について	早期体験実習における「薬局」での見学実習について、病院・薬局実務実習九州・山口地区調整機構より、各校の円滑な実習施設配分を促進するため、実務実習と同様に構内で調整するとの指導があり、これに沿って見学実習を行うこととした。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

学則に基づき大学としてFD委員会を置き、大川キャンパスには「大川キャンパスFD委員会」を設置している。
（資料1「国際医療福祉大学FD委員会規程」）

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

大川キャンパスFD委員会は毎月1回程度開催される。令和2年度は、福岡保健医療学部、福岡薬学部合同で、8名の委員によるFD委員会を10回開催した。また、福岡薬学部独自で令和2年度より福岡薬学部FD委員会が発足し、FD活動を行っている。令和2年度は4回の委員会を開催した。

c 委員会の審議事項等

FD研修会の企画・運営、教員の資質向上、授業評価アンケートの実施等を審議する。

② 実施状況

1. 全キャンパス合同FD研修会（年2回実施）

令和2年度は、9月には第1回合同教員研修会「発達障害学生に対する組織的な修学・就職支援の取り組み実践例をもとにした具体的対策について」というテーマで開催された。富山大学より外部講師をお招きし、富山大学で実践している具体例を示しながら、支援が必要とされる学生への対応について講演していただいた。

また、3月には第2回合同教員研修会が開催され、「2020年度学生が選ぶグッドティーチング賞受賞者報告会」では、グッドティーチング賞を受賞した教員の教授法の紹介など各キャンパスより報告なされた。講義等でやむを得ず欠席した教員は、後日、録画配信される動画を視聴している。

2. 大川キャンパスFD研修会

令和2年度は、9月に「科研費獲得申請経験談」と題し、本キャンパスの教員2名により、科研費申請の心得とその具体的な記入方法について講演いただいた。その他、ミニFDとして、各学科の教員が実践している教育法や研究成果をわかりやすく紹介するFD活動も実施している。

<ミニFD>

2020年7月：「ミオフィラメントCa感受性と遺伝性心筋症」

2020年12月：「言語聴覚士を目指す学生の特性について－専門学校での養成経験から－」

3. 福岡薬学部FD研修会

令和2年度は、10月と2月に福岡薬学部FD活動を行った。第1回福岡薬学部FD活動は、「福岡薬学部FD活動の方針」と題し、FD活動の概要や本学の基本理念・教育理念に基づく今後の開催計画が発表された。

また、第2回FD活動は、「国際医療福祉大学における薬学教育のビジョンとイノベーション」と題し、今後の本学部教育の方向性について、「リサーチマインドを持った臨床に強い医療人としての薬剤師を育成する」ことが明示された。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

授業評価アンケートは、全ての科目を授業の最終回で実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員に対しては、科目ごとの集計結果について、全て公表しをフィードバックしている。
全体の集計結果については、学内のシステム上に掲示し、学生が自由に閲覧できるよう措置している。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学は、建学以来、病気や障害を持つ人も健常な人もお互いを認めあう「共に生きる社会」の実現を教育理念に掲げ、また21世紀の健康、医療、福祉を担うことができ、広い視野と国際性を身につけた人材の育成を教育目標としている。この理念・目標に沿って、より実践的な専門職教育を実現する方策の一つとして、実習教育を重視し、①臨床実習を体験する前の早い時期に病気や障害をもつ人と交流体験を通して様々な人々が共に生活する社会を学生に実感させる ②大学における知識・理論の講義と臨床現場での臨床実習を一体化させる ③チーム医療の成熟 を目指して、教育研究活動に取り組んでいる。

このような本学の特色を生かしつつ、薬学部においては、薬学の基礎から臨床応用までの講義、実習・演習を有機的に構成したカリキュラムによる教育に加え、本学の医療福祉系学部との共通カリキュラムによる医療人としての教育、さらに関連医療福祉施設における臨床実習により、高度な専門性を備え、医療人としてチーム医療に貢献できる人間性、社会性、国際性豊かな薬剤師を養成する全人教育を行うことを目指している。

1. 入学者の確保について

令和3年4月入学の第2期生募集に当たっては、福岡薬学部入学定員120名に対し1,070名の志願者(志願倍率3.2)があった。第1期生の志願者数には及ばなかったものの、1,000名を超える志願者を確保し、123名の学生を迎えることができた。コロナ禍で十分な募集活動が出来ない環境の中、本学の基本理念や、これまでの薬学教育に対する取り組み、国家試験の状況、福岡薬学部における育成方針などについて十分に理解が進み、浸透した成果であると考えている。今年度以降も引き続き、努力していきたいと考えている。

2. 関連職種連携教育

1年次必修科目「早期体験実習」では、施設(病院、薬局、製薬会社工場など)の見学、薬害に関する講義を開講し、早期に医療の現場に触れ、医療人になる心構えを養う。2年次必修科目「関連職種連携論」を福岡薬学部・福岡保健医療学部合同で開講し、自職種のみならず他職種への理解を深めると共に、各職種間連携の在り方、実際の臨床現場での関わりなどを座学にて学修する。

3. 海外保健福祉事情

福岡薬学部2年生を含む大川キャンパス2年生約350名を対象に、15の国・地域で2週間前後の海外研修を実施する予定であったが、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、令和3年度の海外研修を中止することになった。この科目では海外の医療・福祉・教育機関で現地スタッフの指導のもと、医療福祉について学び、将来的に国際貢献できる医療専門職を育成する。代替措置として、協定校とオンラインでの講義を検討中である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

令和3年5月 公表

b 公表方法

大学ホームページに掲載するほか、関係する自治体・図書館・他大学などに報告書を配付し、本学への外部からの意見の収集に努める。

③ 認証評価を受ける計画

令和3年度に公益財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受ける予定。

- (注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

国際医療福祉大学 FD 委員会規程

(設置)

第1条 国際医療福祉大学学則第11条に基づき、本学にFD委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(目的)

第2条 委員会は、本学の定める教学の基本方針にしたがい、教育法の改善及び教員の資質の向上などFD（ファカルティ・ディベロプメント）に関して討議を行い、より質の高い教育方法の推進を図るものとする。

(委員会の構成)

第3条 委員会は、次の各号の委員をもって構成する。

- 一 学部長の意見を聴いて学長が指名する各学科の専任教員、及びセンターがある場合にあってはセンターの専任教員
- 二 学長が指名した者
- 三 理事長が推薦した者

2 委員の任期は1年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第4条 委員会に委員長を置き、委員の中から学長が指名する。

- 2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名する委員がその職務を代行する。

(委員会の成立)

第5条 委員会は、過半数の委員の出席により成立する。

- 2 委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(委員以外の出席)

第6条 委員長が必要と認めるときは、委員以外の者を委員会に出席させることができる。

(小委員会の設置)

第7条 各キャンパスにFD小委員会を置くことができる。

- 2 小委員会の運営については別に定める。

(事務処理)

第8条 委員会の事務は、大田原事務部教務事務主管課が取り扱い、小委員会の事務は、各キャンパス教務事務主管課が取り扱う。

(雑則)

第9条 委員会の運営に関し必要な事項は、委員会の議を経て学長が別に定める。

(改廃)

第10条 この規程の改廃は、常任理事会の承認事項とする。

附 則

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。